

令和7年度 岐阜県  
健康づくり優良活動表彰



岐阜県  
健康づくり優良活動

健康経営優良企業  
中小規模企業部門

## 現場優先から人優先へ 適切な制度改革で 従業員の健康を支える



- 規則の明文化・改定を進め  
心身の健康維持を支援
- 業務量に応じた  
変形労働制を導入し家族時間と休息を確保
- 地域貢献・健康維持・交流促進につながる  
運動機会を創出



### DATA

本社 / 〒506-1161 飛騨市神岡町船津2091  
高山営業所 / 〒506-0003 高山市本母町63  
TEL.0577-34-1432

設立 / 1972 (昭和47) 年1月  
代表者 / 代表取締役社長 亀谷雪之介  
活動人数 / 19名 (男性14名・女性5名)

紹介動画は  
こちら



# 株式会社アルプスサイン



## CHECK

路面標示の設置工事を中心に、交通安全に関わるあらゆる業務を行うアルプスサイン。業界全体で安全衛生に関する対策は以前から進んでいましたが、従業員の健康管理にまで踏み込んだ施策の整備は、十分ではありませんでした。そこで同社は「従業員ファースト」を掲げ、現場作業を優先しつつ、事務サイドが中心となって、就労規則の見直しや運動機会の創出に着手。多角的なアプローチで健康経営を推進しています。



### 就業規則を見直しして 休暇や定年の不安解消

取り組みのスタートとして、まずは就業規則を見直しました。従来行われていなかったストレスチェックを就業規則に明記して全員が実施。高ストレス判定を受けた従業員を含めて個人面談を実施し、

問題の改善につなげました。また通常の有給とは異なる「メモリアル休暇制度」を新設。本人または家族の誕生日や各記念日、学校行

事などで利用できます。これと共に、通常の有給の取得推進も本社に行ったところ、従業員の休暇に対する意識が変わり「取得しやすくなった」との声が聞かれるようになりました。

就業規則でも一つ見直したのは、定年退職に関する制度です。これまで規定の60歳を超えて65歳まで働くことを希望する従業員もいて、会社もそれを認めていましたが、明文化はされていませんでした。そこで正式に65歳へと変更。さらに希望があれば、上限を無くして働くことができるようにしました。現在の最年長となる77歳の従業員は「健康であるうちは安心して働ける」と話し、元気に活躍しています。

### 変形労働制を導入し 冬場の勤務時間短縮

特徴的な改革として挙げられるのが、「1年変形労働時間制」の導



入です。路面での作業が主体の同社。雪に覆われる冬の間は、現場作業が特に減る閑散期となり、反対に雪のない時期には業務が集中します。この業務量の季節変動を考慮し、通常8時～17時30分の勤務時間を、1、2月は8時～16時に短縮しました。無駄な時間が減って仕事にメリハリが付いた他、プライベート時間の充実が図られ、体をしっかりと休めることができるという声が聞かれます。

工務課の萩野下司さんは「退勤時間が早まり、妻に任せきりだった子どもの保育園や習い事の送迎に、

この時期は私が行けるよ



萩野下司さん



になりました。子どもにも喜ばれますし、妻には『助かる』と言ってもらえています」と笑顔を見せます。

また現場で疲れた体が休まるよう、昼休憩の1時間はしっかり確保。休憩室にはこたつを置き、冬場も暖かく過ごせます。従業員らはこたつを囲んで談笑したり、仮眠を取ったりするなどして心身を休め、午後からの勤務に備えることができています。

### 運動で健康維持と社内の交流を図る

運動機会の創出にも積極的です。当社では、地元のハンドボールチーム「飛騨高山ブラックブルズ岐阜」の選手、阿礼梨那さんが動いている縁から、同チームのヘッドコーチを講師に迎えた運動教室を社内



阿礼さん

内で実施しました。コーチの指導の下、従業員らは基礎体力を鍛えるトレーニングや、ボールを使った瞬発力を養う運動を楽しむながら体験しました。

これまで当社では、天気等で頻繁に予定変更が起きる現場作業を第一優先としており、事前に日時を決めて全社で何かを行うことが困難な面がありました。しかし健康経営に重きを置くことで、事務サイドを主導に同企画を立ち上げ、



事前に日時を確定して全社へ通達。積極的な声掛けもあつて、一部の現場作業者も当日の段取りを工夫し、開始時間までに作業を終えて参加することができました。

コーチに協力を依頼し、教室にも参加した阿礼さんは「和気あいあいと楽しく体を動かす充実した時間でした。複数人で行う運動では、普段は別々で働く事務担当と現場担当が交流する良い機会になりました」と振り返ります。

また地域貢献の一環として2024年度に始めた清掃活動も、運動機会の創出につながりました。営業エリアの高山市、飛騨市内を中心に、従業員らが市営駐車場など約30か所を計7日間かけて清掃。当初は運動を目的とした活動ではなかったものの、移動を徒歩で行ったため、結果として参加した従業員から「良い運動になった」との感想が集まり、今後も継続してまいります。



松川さん

同社の健康経営を主導する常務取締役の松川英明さんは「従業員が心身共に健康で、明るく元気に働ける職場は、会社の健全経営を意味します。これが地域に認知され良い人材が集まれば、会社に良い循環ができます。今後は『働きがい』にも注目し、ワンランク上の職場づくりを目指したいです」と意気込みを語りました。